

## 緩和ケアチーム実地研修

### 1. 目的

診療機能の高いチームが、他病院の緩和ケアチームの医療従事者を受け入れて、実地研修を提供する（緩和ケアチーム実地研修。以下「研修」という。）ことにより、緩和ケアチームの質を向上させることを目的とする。

### 2. 研修対象者

研修対象者は、

- ① がん診療連携拠点病院等（特に、緩和ケアチームによる年間新規診療症例数が50件以下等緩和ケアに対して更に取組が必要である病院）
- ② 都道府県が独自に指定する等のがん診療病院
- ③ 緩和ケアチームを有する病院

の緩和ケアチームのメンバーとする。原則として、緩和ケアチームメンバーが医師を含めた2名以上で合同して参加する。

### 3. 研修受入施設

研修受入施設は別添1のとおり。

### 4. 研修形式

研修形式については、下記の例を参考に、研修受入施設が設定する。

- ・ OJT形式
- ・ 緩和ケアチームの現状、課題及びその解決策等についての検討
- ・ 各職種の専門性を高めるための意見交換

### 5. 研修プログラム

研修プログラムについては、下記の例を参考に、研修受入施設が適宜設定する。

#### （1）全職種対象のプログラム

- ・ 定期カンファレンスへの同席
- ・ 緩和ケアチーム回診への同行
- ・ 緩和ケアチーム介入記録作成の見学
- ・ 主治医や病棟看護師、多職種等とのカンファレンスやフィードバックの見学
- ・ 新規依頼時の初期対応の見学
- ・ 実績データ管理の見学
- ・ 困難症例の紹介・解説
- ・ 苦痛のスクリーニング、緩和ケアマニュアル、クリティカルパス等の紹介
- ・ 新規依頼症例数の増加を目指した相談
- ・ 緩和ケアチームの体制作りに関する相談
- ・ 緩和ケアチームの普及啓発に関する相談
- ・ 退院支援、地域の医療機関との連携
- ・ キャンサーボード、地域の医療者が参加可能なカンファレンス等への出席

(2) 職種別のプログラム

- ・ 個別回診への同行
- ・ 緩和ケア外来への同席
- ・ がん看護カウンセリングへの同席
- ・ 緩和ケア相談支援業務への同席

6. 研修期間

研修期間は、概ね1～2日程度とし、研修受入施設が適宜設定する。

7. 研修の申込み

研修の受講を希望する場合は、別添3「緩和ケアチーム実地研修申込書」に必要事項を記入の上、平成30年6月15日（金）までに、直接、研修受入施設へ申し込むこと。研修日時や研修受講者の選定等については、今後送付予定の研修受入施設の案内を参考に、研修受入施設と個別に調整すること。

8. 研修の効果

研修受講者は、受講後の緩和ケアチーム依頼件数の変化など、研修の効果を検証するよう努めるとともに、研修受講に関する調査に協力すること。

9. その他の留意事項

研修受入施設においては、研修に係る経費について、がん診療連携拠点病院機能強化事業を活用できるものとする。なお、研修を受講する際の旅費等については、がん診療連携拠点病院機能強化事業の補助対象とはならない。